

成人看護方法Ⅲ 1単位（30時間）

科目目標：1. リハビリテーション期にある患者の特徴及び看護を理解する。

講師：①穴沢和子 ②小抜佑未絵

③祐川尚子（教員）

評価方法：筆記試験により評価する

テキスト：①系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[1] 成人看護学総論，医学書院

②系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学[4] 臨床看護総論，医学書院

③系統看護学講座 別巻 リハビリテーション看護，医学書院

④系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[9]女性生殖器，医学書院

⑤系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[7]脳・神経，医学書院

単元	教育内容	時間	授業	備考
障害がある人の生活とリハビリテーション	1. 障害がある人とリハビリテーション 1) 障害とは 2) 障害がある人の障害の認識過程 3) 障害がある人のリハビリテーション 2. 障害がある人とその生活を支援する看護 1) 障害がある人とその生活を支援する看護の特徴 2) 看護の実際 (1) 急性期 (2) 回復期 (3) 維持期 3) ADL評価とIADL評価	8	講義	講師① 配点20% テキスト①
リハビリテーション期（回復期）における看護	1. リハビリテーション期の特徴 1) リハビリテーション期とは 2) リハビリテーション期の治療の特徴 2. リハビリテーション期の患者のニーズ 1) 心理的 2) 身体的 3) 社会的 3. リハビリテーション期にある患者への看護援助	4	講義	講師② 配点60% テキスト② 特殊治療学（リハビリ）と関連づける
代表的な疾患をもつ患者の看護	1. くも膜下出血患者の看護 2. 脊髄損傷患者の看護 3. 心筋梗塞患者の看護 4. 乳癌患者の看護 （ボディイメージの変化をきたした患者の看護）	10		テキスト ③④⑤ 事例を提示しながら教授する

単 元	教 育 内 容	時 間	授 業 形 態	備 考
化学療法を受ける患者の看護	1. 化学療法の特徴 1) 化学療法の原理 2) 化学療法の有害反応 3) 化学療法の目的 4) 化学療法の流れ 5) 抗がん剤曝露からの防護 2. 化学療法を受ける患者・家族への看護援助 1) 治療前の看護援助 2) 薬剤投与時の看護援助 3) 薬剤投与後の看護援助	4	講 義	講師③ 配点20% テキスト②
放射線療法を受ける患者の看護	1. 放射線療法の特徴 1) 放射線の特徴 2) 放射線療法の特徴 3) 放射線療法の目的 4) 放射線の照射方法 5) 放射線療法の流れ 6) 放射線被曝からの防護 (1) 放射線防護の3原則 (2) 放射線管理 2. 放射線療法を受ける患者・家族への看護援助 1) セルフケア 2) 急性有害反応と晩期有害反応への援助	4	講 義	テキスト② 放射線療法(特殊)と関連づける

